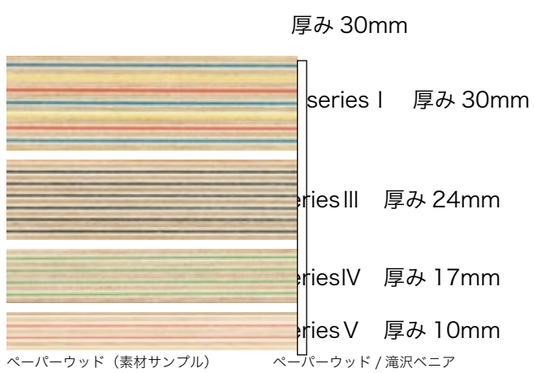
ペーパーウッドを活かした子供のための家具の提案

プロダクトデザイン系列　24ZC089

しましま

研究の背景・目的

紙と木を積層して作られる合板に出会い、カラフルな断面や縞模様が生み出す美しさに強い魅力を感じた。この素材が持つ可愛らしさや視覚的な楽しさを活かし、子供向け製品を制作したいと考えたことが本研究の動機である。本研究では、色彩豊かで親しみやすい見た目に加え、子供が自分で扱える軽さ、使う中で学びや発見を楽しめるデザインに着目した。これら三つの要素を軸に、子供が初めて触れ、日常の中で成長とともに寄り添う家具として「ファーストファニチャー」を提案する。

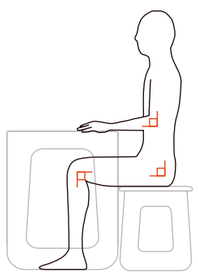


ペーパーウッド（素材サンプル）　ペーパーウッド / 滝沢ベニア

素材を活かした設計

本作品では、17 ミリ厚のペーパーウッドを使用し、素材特有の美しい縞模様を最大限に活かすことを意識した。面取り部分には大きな丸面を取り入れることで、断面の一層目が外からも確認でき、全体に柔らかく親しみやすい印象を与えている。デスクとスツールの脚部には窓抜きを施し、断面を見せるデザインのポイントとすると同時に、軽量化も実現した。また、体への負担を減らし集中力を高められる姿勢として、足と腕が 90 度になるよう寸法を設定している。デスクは高さ 560・幅 800・奥行 450、スツールは高さ 317・幅 350・奥行 275 とした。

丸面加工のでディテール



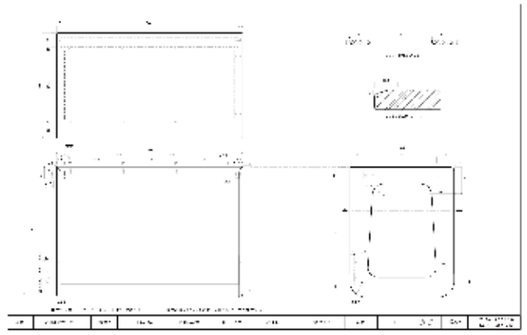
正しい姿勢と角度

ターゲット・使用シーン

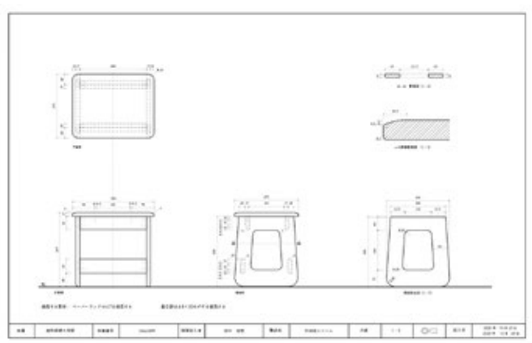
本研究では、ファーストファニチャーとして家具を購入することの多い、6 歳前後・身長約 130cm の子供を主なターゲットとしている。使用シーンは、親が見守ることのできるリビング空間を想定した。初めて自分専用の家具を使い、勉強などの作業を始める時期は不安も多いが、親の目の届くリビングで使用することで、子供が安心して作業に取り組める環境をつくることを目的としている。

使用の様子

実際に子供たちに使用してもらい撮影を行った。モデルは小学 1 年生（身長 122cm）と 2 年生（身長 127cm）である。子供自身がデスクに合わせてスツールを動かし、姿勢よく作業する様子が見られたほか、スツールの抜きや脚部の窓抜きに足を掛けるなど、部材を工夫して使用する姿も確認できた。教科書やノートなど多くの物を机に置いた状態でも、十分な作業スペースを確保して使用できていた。また、正面や座面に施した大きな丸面については、体が当たっても痛くないという感想が得られ、スツールは子供自身で持ち運び移動できていた。



子供用デスク三面図



子供用スツール三面図